

秋田工業高等専門学校		開講年度	令和05年度(2023年度)		授業科目	国語Ⅲ(3B)	
科目基礎情報							
科目番号	0042			科目区分	一般/必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教科(人文科学系)			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	教材:『ちくま評論入門』二訂版(筑摩書房) 辞書:国語辞典(電子辞書も可) 補助教材:新版六訂『カラー新国語便覧』(第一学習社)『ステップアップ日本語講座 中級』(東京書籍) その他:自製プリントの配付						
担当教員	三浦 政博,石塚 政吾						
到達目標							
1. 論理的文章の読解を通して、要旨や筆者の主張を把握し、自分なりに考えることができる。 2. 文学的文章の読解を通して、想像力や感じ取る力を磨き、心情を豊かにすることができる。 3. 現代社会で求められるコミュニケーション能力を、正確かつ豊かに発揮することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	論理的文章を読んで論旨を的確に把握し、要約し、自分の意見を説得的にまとめることができる。			論理的文章を読んで論旨を把握し、要約することができる。		論理的文章を読んで論旨を把握することや要約ができない。	
評価項目2	文学的文章を読んで優れた表現に着目するとともに、表現の効果を踏まえて作品の魅力を説明することができる。			文学的文章を読んで場面や状況を踏まえた人物の行動や心情を理解することができる。		文学的文章を読んで場面や状況を把握することができない。	
評価項目3	コミュニケーション能力を正確かつ豊かに発揮することができる。			コミュニケーション能力を発揮することができる。		コミュニケーション能力を発揮することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
(D)コミュニケーション能力 D-1							
教育方法等							
概要	論理的文章、文学的文章を正確かつ豊かに読解することを通じて、思考力・想像力を養う。また、自分の考えを他者に正確に伝えるための表現力を磨く。						
授業の進め方・方法	講義形式で行う。適宜、小テストを実施し、レポート、作文等の提出を求めることがある。						
注意点	教科書、ノート、副教材、国語辞典を忘れずに準備して出席すること。新しい教材に入る前に、該当箇所を通読して授業に臨むこと。 合格点は50点である。到達度試験の成績の90%に、ノート整理・授業態度等平素の成績を10%として加え、評価する。 学年総合評価=(前期末成績+後期末成績)÷2。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス		授業の進め方と評価の仕方について説明する。		
		2週	未来の他者と連帯する		未来の他者との連帯につまとう悲観と希望について理解し、説明することができる。		
		3週	同上		未来の他者との連帯の可能性について、自分の考えをまとめることができる。		
		4週	こころ		「私」と「K」の関係について理解し、「K」の人物像を説明することができる。		
		5週	同上		「私」と「K」の行動について整理し、あらすじをまとめることができる。		
		6週	同上		「私」の心情について整理し、遺書の意味について自分の考えをまとめることができる。		
		7週	到達度試験(前期中間)		上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。		
		8週	試験の解説と解答		到達度試験の解説と解答。		
	2ndQ	9週	視線のカスケード		心身二元論について理解し、身体の情動反応と感情経験の関係について説明することができる。		
		10週	同上		「視線のカスケード」という現象について理解し、ヒトのコミュニケーションの特徴について説明することができる。		
		11週	同上		筆者の人間観に対して、自分の考えをまとめることができる。		
		12週	どよどよ		物語る行為によって生じた樹子の気持ちの変化を捉え、説明することができる。		
		13週	同上		「どよどよ」の意味について考え、説明することができる。		
		14週	同上		樹子の気持ちの変化と「どよどよ」の意味を踏まえ、あらすじをまとめることができる。		
		15週	到達度試験(前期末)		上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。		
		16週	試験の解説と解答		到達度試験の解説と解答。		
後期	3rdQ	1週	触覚の倫理		「さわる」と「ふれる」の違いについて理解し、説明することができる。		

		2週	同上	「ケアとはなにか」という問題について理解し、説明することができる。
		3週	同上	接触面の人間関係について、自分の考えをまとめることができる。
		4週	沈黙	フェレイラがロドリゴに対して語った内容を理解し、説明することができる。
		5週	同上	ロドリゴが踏絵を踏む決意をするに至るまでの気持ちの流れを整理し、あらすじをまとめることができる。
		6週	同上	「沈黙」の意味を踏まえ、神や信仰の意義について、自分の考えをまとめることができる。
		7週	到達度試験（後期中間）	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。
		8週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答。
	4thQ	9週	生き延びるための思想	ケアをめぐる権力とジェンダーの非対称性について理解し、説明することができる。
		10週	同上	脱ジェンダー化の意味を理解し、「生き延びるための思想」について説明することができる。
		11週	同上	超高齢社会に生きる者として、「生き延びるための思想」について、自分の考えをまとめることができる。
		12週	現実に噛みつかれながら	サイモン、甥っ子、店員の黒人女性それぞれのベガーに対する考え方を理解し、説明することができる。
		13週	同上	「現実に噛みつかれる」とはどういうことか理解し、「現実」とはどのようなものか説明することができる。
		14週	同上	階級社会の問題点について、自分の考えをまとめることができる。
		15週	到達度試験（後期末）	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。
		16週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答、および授業アンケート。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	2	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	2	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	2	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	2	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	2	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	2	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	2	
				グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	2	
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	2	
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	2	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	2	

				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	2	
評価割合						
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	合計
総合評価割合	90	0	0	0	0	100
基礎的能力	30	0	0	0	0	33
専門的能力	30	0	0	0	0	33
分野横断的能力	30	0	0	0	0	34